

<測定値を活用> 生産現場に活かす品質管理技法

セミナー概要

品質管理に用いる統計的な考え方を活用して、生産性の向上にかかる手法を学びます。パソコンを用い、表計算ソフトでデータ処理を試してもらい、その背景について説明します。

製造ラインの業務に携わる方や、加工などの業務に携わる方で、工程能力の見方などを学びたい方におすすめします。

こんな方におすすめ！

- ✓ 量産品の品質管理手法について習得したい方
- ✓ 品質管理分野のQC 7つ道具について知っておきたい方
- ✓ データを活用して生産状態の維持や管理を行う技術者の方

本セミナーを受講することにより・・・

- ✓ 量産品の品質・均一性を維持するためのデータとその活かし方が判ります。
- ✓ 設備の異常や劣化を早期に発見でき、不良品の発生を抑制しやすくなります。
- ✓ 使用環境を整えやすい一般的な表計算ソフトを用いてデータ処理と評価を行います。

セミナー基本情報

コース番号	TMX09	開催場所・日時	東北職業能力開発大学校・ 8/19(水), 20(木) (9:00~16:00)	
カリキュラム 概要	1日目		2日目	
	(1) 表計算基本操作の確認 (2) 品質管理の重要性 (3) QC的な見かた、考え方 (4) 統計的手法について(関数)		(5) サンプルの影響 (6) 検査データの分布 (7) 工程能力の見方 (8) 製造工程の安定化について	
持参品	筆記用具		受講料	10,000円(税込)
使用機器	パソコン・表計算ソフト(Excel)		定員	10名

セミナーイメージ

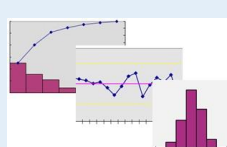
様々な「品質」
を示すデータ

データの種類
データのとり方
データの集め方

得られたデータを処理



パソコン



表計算ソフト

「品質」を維持・向上させる
ポイントを見つけられる

現在の工程の評価
昨日と同じ操業状態と言えるか
製造不良と疑わしい工程の検出
ラインを改善するとすればどこか

